



予防接種スケジュール（0歳から思春期まで）



ワクチン	種類	乳児期										幼児期					学童期／思春期									
		生直後	6週	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9-11か月	12-15か月	16-17か月	18-23か月	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳以上			
インフルエンザ菌b型（ヒブ）	不活化			①	②	③						④														
肺炎球菌（PCV13）	不活化			①	②	③						④														
B型肝炎	不活化			①	②				③																	
ロタウイルス （口から飲むワクチン）	ロタリックス	1回目は14週6日までに接種		①	②	(注1)																				
	ロタテック	1回目は12週6日までに接種		①	②	③				(注2)																
5種混合（DPT-IPV-Hib）	不活化			①	②	③						④	(注3)		(7.5歳まで)							11歳～2種混合接種 （ジフテリア・破傷風）	①	12歳		
BCG	生																									
麻疹・風疹混合（MR）	生											①					② (注4)									
水痘	生											①			②											
おたふくかぜ （任意接種）	生											①					② (注5)									
日本脳炎	不活化														① ② ③ (7.5歳まで)				④	9-12歳						
インフルエンザ （任意接種）	不活化											毎年（10、11月などに）①② 生後6か月以上12歳まで（13歳未満）2回接種												① 13歳以上は1回接種		
ヒトパピローマウイルス	9価																			(注6)	小6	(注7)中1①②				
不活化 （HPV）	2価・4価																				小6	(注7)中1①②③	中2～ 高1相当	(注8)		



定期接種の
推奨期間



定期接種の
接種可能な期間



任意接種の
接種可能な期間



添付文書に記載はされていないが
小児科学会接種を推奨する時期



接種等の問い合わせは健康づくり課(0162-23-4000)へ



注意事項の説明

- (注1) 計2回、②は、生後24週までに完了すること
- (注2) 計3回、③は、生後32週までに完了すること
- (注3) ③-④は6か月以上あけ、標準的には ③終了後12-18か月の間に接種
- (注4) 小学校入学前の1年間
- (注5) 予防効果を確実にするために、2回接種が必要である①は1歳を過ぎたら早期に接種、②はMRと同時期（5歳以上7歳未満で小学校入学前の1年間）での接種を推奨する
- (注6) 定期接種の対象は、12歳-16歳(小学校6年生から高校1年生相当)女子
2価ワクチンは10歳以上であれば任意接種可能
4価ワクチンと9価ワクチンは、9歳以上であれば任意接種可能
- (注7) 標準的な接種ができなかった場合、定期接種として以下の間隔で 接種可能（接種間隔が3つのワクチンで異なることに注意）
 - ・ 9価ワクチン（15歳以上で始める場合）： ①-②の間は1か月以上、②-③の間は3か月以上あける
 - ・ 2価ワクチン： ①-②の間は1か月以上、①-③の間は5か月以上、かつ②-③の間は2か月半以上あける
 - ・ 4価ワクチン： ①-②の間は1か月以上、②-③の間は3か月以上あける
- (注8) 平成9年度生まれ～平成20年度生まれの女性で、2022年4月～2025年3月末までにHPVワクチンを1回以上接種した方が公費による接種を希望する場合は、2026年3月末までに2回目・3回目のワクチンを接種することをご検討ください。具体的な接種方法については、厚生労働省のホームページを参照

参考：日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール
厚生労働省ホームページ